

林檎の森

りんごのもり

12
2021
vol.473



特集

突然、訪れたリンゴ生産への道
～祖父が残してくれた足跡を頼りに～



水道から給水!?

「現在所有する農地等の全てを村田克幸に渡す事とします…」

リンゴの摘果作業が終わりを向かえる6月末、りんご農家を営む村田克幸さんの祖父が急死。祖父が残した遺言書には、リンゴ園の全てを渡したい旨が書かれていた。

一級塗装技能士として塗装業を営む村田さん。「何事も挑戦」という気持ちで4年前に独立し、カツ塗装工業を開業させた。□□ミで村田さんの腕利きが広がり、仕事軌道に乗る中、突如訪れたリンゴ農家への道。彼がリンゴ農家との兼業を決意した出来事に迫ります。

園地状況等の把握

「先輩！ 急にリンゴ園を渡されたんですけど、どうすればいいですか？」



職人技が光る

突然、訪れたリンゴ生産への道 ～祖父が残してくれた足跡を頼りに～

カツ塗装工業 代表

×

新規就農者

村田 克幸 さん (30)

- # JA相馬村
- # リンゴ生産者
- # 新規就農
- # 新規就農支援
- # 兼業農家
- # 塗装業

兼業



祖父の足跡が綴られたノート

村田さんの中学時代からの先輩にあたる、当JAの齊藤指導員へ一本の電話が入った。村田さんから連絡を受けた齊藤指導員が園地を訪れ、まずは品種構成や病害虫の発生状況、必要な資材や農機具等の現地確認を行った。

祖父が6月中旬まで営農していたことから道具は全て揃っており、園地は一つ成り摘果まで終了していた。そして、村田さんに渡された遺言書などが入った書類の中に一冊のノートがあった。そこには、6月中旬までの薬剤散布経過や作業実施内容が記されていたほか、過去の作業記録やリンゴの収穫日、収量が細かに書かれていた。

村田さんは以前、祖父の収穫作業等を数回手伝ったことがあったが、祖父が自分に経営移譲する意思があったことは全く知らなかったと打ち明ける。もし、村田さん



農薬の投入量を量る

が畑を継がないにしても、リンゴ樹を伐採しない限りは病害虫等で近隣へ迷惑を掛ける可能性がある為、塗装業が忙しい中でも薬剤防除を実施しなければならぬ状況だった。祖父の倉庫にあった農薬の在庫を把握し、今後の防除計画を再度組み立て、翌日には薬剤散布を実施することを決めた。そして、また分からないことがあれば連絡するよう求め、齊藤指導員はその場を後にした。

元々機械好きだった村田さんは、You Tubeでスピードスプレーヤ（SS）の操作方法を調べ、ワクワクしながら見様見真似で薬剤散布に挑戦した。後日、齊藤指導員に薬剤散布を無事に終えたことを報告し、「初めてSSにエンジンを掛けた時は感動し、非常に楽しかったです。でも、SSに給水する際

未知の世界へ羽ばたく

は水道で約1時間掛かり大変でした」と伝えた。それを聞いた齊藤指導員は、「給水に1時間!？」と驚いた。普段、農家との薬剤散布の会話に「給水方法」という内容がなかったため、そこまでの指導は頭の片隅にも浮かばなかった。新規参入者への指導は、今までとは違う目線が必要だと齊藤指導員は考えを新たにしたという。

初めての薬剤散布の、あの楽しさがきっかけとなり、村田さんは兼業農家として歩むことを決意。また、指導を受けることの重要性を知ったことからJA相馬村の准



井戸と農業用ポンプを発見！



先輩後輩の仲が生産者と指導員の関係へ発展

組合員となり、齊藤指導員と二人三脚での栽培管理がスタートした。

▼薬剤散布

齊藤指導員は、農業用水が必ず近くにあるはずだと考え、園地を見渡すと井戸を発見。その横にはブルーシートに覆われた農業用ポンプも見つかった。村田さんは井戸と農業用ポンプの存在に全く気付いていなかったことから、驚きを隠せない様子だった。

早速、農業用ポンプの使い方を教わり、SSに給水。数分で一気にSSのタンクが満杯となり、村田さんは感動していた。また、SSの散布ノズルに目詰まりが無いが始業前点検を実施。その後、農

薬の混用順序や希釈倍数を確認しながら調査し、SSの操作方法や散布圧、散布速度について指導を受けた。

▼摘果作業

仕上げ摘果が残る中、村田さんは齊藤指導員から摘果の目的や中心果と側果の区別、より良い中心果の選択について説明を受けた。村田さんが兼業を決意したことにカツ塗装工業の従業員も奮起し、総出となって仕上げ摘果に取り組んだ。

リンゴは最初から1つ成りだと思っていたことから、実際に作業をしてみると思った以上に気が遠くなったという。

▼思いがけない伐採

仕上げ摘果が終わり安堵する頃、大きな丸葉樹の片腕が折れているとの連絡が入った。すぐに現場へ駆け付け確認すると、フラン病等



ムラの無い散布を指導



初のチェーンソー作業

の影響で樹が弱っていたことに加えて着果量も多く、枝受け支柱もしっかりと設置されていなかったことから、主枝の付け根から欠落していた。

再生不能なことから伐採することとを決断。枝に成った果実を全て取り除くことから始め、チェーンソーを使って伐採した。伐採の仕方によっては、切断した樹が自身に降りかかってくる危険性もある為、指導を受けながら慎重に作業が進められた。また、自身が持っていたチェーンソーは、刃の手入れが不十分で中々切断できず、手入れされたチェーンソーを使って切れ味の違いを確認しながら日々のメンテナンスの重要性も感じていた。

▼着色管理

9月中旬、中生種の早生ふじの陽光面が色づいてきた。リングゴは満遍なく勝手に色付くものだと思う

ていた村田さん。齊藤指導員から葉摘みや玉回しを教わり、着色管理を進めることとなった。葉摘みについては品種ごとに時期が異なる為、一つ一つの樹に品種名を記入した印を付けて実施し、その後は反射シートを敷くなどしてより良い着色を目指した。

▼収穫作業

10月上旬、早生ふじが無事収穫を迎えた。初めての収穫である。JAでコンテナ等の貸し出し手順と入庫方法を教わったほか、軽トラに積んだコンテナが落下しないようにロープで固定する方法も確認。塗装業でも脚立等を固定するため、ロープの扱いは齊藤指導員よりも手早く、逆に指導を受けるほどだった。

収穫は従業員みんなで実施し、押し傷や土壌菌が付かないように注意しながら作業した。村田さん



従業員みんなで奮起



JA 青森中央会主催の栽培技術研修会にも参加

は選果を担当し、選果基準を指導するために初日は齊藤指導員が一緒に実施した。

しかし、翌日一人で選果したリングゴを確認すると、着色度合いや下位等級品の線引きにズレが生じ始めていたことに気付いた齊藤指導員。選果が緩むことで1箱当たりの単価が左右されるほか、リングゴの精算額が想像以上に低くなると、村田さんの今後の継続意思に大きく影響を及ぼす可能性があることを懸念し、収穫が終わるまで付きっきりで指導することとした。村田さんは、「齊藤先輩が指導してくれているときは何となく理解できているが、やはり着色度合いや、どこまでのキズがクズ実で、

どこまでが加工という物差しが全くないため、とても苦労した」と振り返っていた。

▼収穫を終えて

「おじいちゃん！ やってやったぞ！」。全ての収穫を終え、村田さんが最初に感じたことだった。また、収穫時に病害虫防除や着色管理の重要性を従業員みんなで痛感し、それぞれの作業に一つ一つの意味があることを再認識していた。

収穫後、JAの入庫伝票から本年産の出荷内容を集計した。これは、下位等級品が生まれた要因の精査、品種構成等の経営の見直しを図る為である。リングゴの中生種の繁忙期が塗装業の繁忙期と重な



高密植わい化栽培の最先端技術を学ぶ



あこがれのキャビンに興味深々

村田さんがスムーズに就農できた理由
▼万一に備えた準備
 村田さんの祖父の場合、不動産の登記や重要書類を整備していたこと、今までの足跡を綴った一冊のノートを残したことがスムーズな

るため、今後は晩生種だけに絞ることとした。また、園地には老木やフラン病が散見された為、着色優良系統ふじへの更新も踏まえて苗木の選定や経費の試算などを行い、今後を見据えた。「来年はもっと良いリンゴを作れるように努力し、将来はキャンピング付きのSSを購入することだ」と機械好きらしい目標を掲げていた。さらに、JAと一緒に研修会や優良園地視察へ参加したことで、高密度わい化栽培にも意欲を示していた。



本年を笑顔で振り返る村田さんたち

継承へと繋がった。これからの人の為に、祖父が準備を進めていたことが非常に活かされたと言えろ。
▼農業用機械等が揃っていた
 村田さんの場合、SS・乗用草刈機から収穫力ゴまで必要なものが全て揃っており、万全な体制でスタートを切ることが出来た。新規就農者が抱える問題の一つとして挙げられる設備投資に係る資金難は、祖父が残した農業用機械で全て補つことが出来た。
▼JAの指導的役割
 現在、ネット社会が急速に進化する中で、You Tubeなどで多くの情報が得られる時代となった。しかし、実際の現場では、その情

報だけでは実践に活かされないことが非常に多く、新規就農者にとつてはもっと奥深くまで説明する必要がある、今回の齊藤指導員のようにつつ細かいところまで説明する指導的役割が功を奏した。畑違いの村田さんにとっては、放射シートやマメコバチの巣など、用途が全く分からないものも多く、齊藤指導員が教えていなかったら処分する予定だったと村田さんは話していた。



品評会で更なる向上心が芽生える

今回の事例では、この三つの要素が上手く噛み合い、スムーズな就農に結び付きしました。これは、親元就農や第三者継承においても同様であります。就農までの手続きが煩雑であること、必要資材や機械の準備資金が用意できないこと、そして、これらを相談する相

手がいないことが経営の安定を阻む要因となるのです。

就農へのきっかけや目標は、どこに転がっているか分かりません。それを一緒に見つけたり支えることもJA指導員の大きな役割だと改めて痛感しました。

今後は、農作業や自分の経営内容の記帳、各種手続きの重要性を研修会等で発信していくとともに、継承者が「農家をやりたい」と思える経営内容を提示できるように、指導員をはじめJA全体がスキルアップしなければならぬと感じました。当JAは、今後も現場の最前線でサポートし、明るい農業を築いて参ります。



心をひとつにして前進することを約束した

11月6日、管内の園地に7社の企業から32名が援農へ訪れた。

この援農は、農業を深く理解してもらつとともに、生産者の労働力不足解消に繋げる為、毎年JA青森中央会が主催しているもので、今年で4年目の取組となる。

援農者は収穫作業や反射シート剥ぎ、葉取作業等を手伝い、初めて行った作業を楽しんでいた。

援農を受け入れた生産者の一人である紙漣沢地区の成田達也さんは「1年の中で1番忙しい時期に人手が増えるのはとても助かる。収穫だけでなく運搬から積み上げも手伝ってもらい、とても助かった」と話した。

また、援農者の1人である日本原燃株の近藤美智子さんは「リンゴ園に初めて足を踏み入れました。収穫作業はもぎ取る時にポキポキと音が鳴り、気持ちがいいです。一生懸命育てたリンゴを丁寧に収穫し、少しでも生産者の助けになりたいです」と初めて行った収穫作業に感想を述べていた。



気持ちよく収穫作業をする援農者の近藤さん



葉取作業に黙々と取組む援農者

リンゴ収穫作業に伴い、長い期間リンゴ箱を5段目に積み上げることにも苦慮していた五所地区の三上由紀夫さんは、その労力を軽減する為に「五段目上げる君」と名付けた機械を作製した。使用した部品などはホームセンターやオークションで買ったものを使用し、低コストで作製。

三上さんは「女性でも持ち運びできるようにローラーを付ける等の工夫もした。これを使ったことで体の負担は大幅に軽減された。今後さらに改良していきたい」と話していた。



誰でも軽々と五段積みができる

11月22日、青年部では田園ステーションにて昨年に引き続きクロネコヤマトの集荷サービスを行った。昨年の初日は148件であったが、今年の初日は384件と26倍以上の件数となった。

当事業を行った湯田地区の溝江翼さんは「昨年からの取組が広がったのか、今年はかなり件数が増えて、地域に少しずつ浸透している事を実感した。また来年も件数が伸びるようにサービスを提供したい」と意気込んでいた。



部員が沢山の荷物を丁寧に運ぶ

topics

全国大会優勝目指して

04

11月25日、少年野球チーム相馬ドリームキッズの児童12名は、三重県で行われる第2回お伊勢さん杯全国選抜少年野球大会出場のお知らせに来協した。

同チームは、結成8年目にして初の全国大会出場となる。

キャプテンの蝦名陽翔君は「初めての全国大会で優勝カップを持って帰れるように精一杯チームで頑張りますので、応援宜しくお願いします」と大場勉代表理事組合長へ抱負を述べていた。



大場組合長へ抱負を述べる蝦名陽翔キャプテン

topics

今年最後の
廃プラ回収事業

05

11月30日～12月1日の2日間、湯口支所と相馬支所にて今年最後の農業用資材の廃プラ回収事業を行った。

今年最後の回収事業という事もあり、農作業を終えた生産者らが処分する資材を持ち込んだ。

資材の廃棄に訪れた生産者は「農作業がひと段落し、資材を整理したら廃棄するものが沢山あった。また来年から新しい資材で農作業を心機一転して頑張りたい」と話していた。



使えなくなった反射シートを処分する生産者

topics

相馬のリンゴで
ケーキ作り

06

12月1日、女性部が中央公民館相馬館でリンゴケーキ作りを行った。

本来であれば、相馬小学校3年生のリンゴ学習を行った児童と一緒に作る予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、女性部のみで行った。

ケーキ作りを行った中嶋美保子さんは「児童にもこのケーキを食べてもらって、リンゴ栽培の様にケーキ作りも楽しんで欲しい」と話していた。



食べやすいサイズにケーキを切り分ける中嶋さん

topics

リンゴ学習
よく頑張りました

07

12月1日、女性部がリンゴ学習を行った相馬小学校3年生の児童11名に、リンゴ学習を頑張ったとしてリンゴケーキやリンゴジュースなどを贈呈した。

また、リンゴを使ったデザートレシピも入っており、親子では非作って欲しいという気持ちが入められている。

一人一人に贈呈した田澤真由美部長は「リンゴ学習を通して大変さなど感じたと思います。今回学んだことを今後も活かしてください」と児童へ話していた。



1人1人にケーキを手渡す田澤部長

直売所「林檎の森」

所員 古川 華留愛



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

コロナウイルスも落ち着いてきて良い新年を迎えられそうです。今年も林檎の森は皆様のご協力により、無事に年末を迎えられることを感謝申し上げます。

また、令和3年の最終営業日は12月30日8時30分から5時までとなっております。

初日からたくさんのお客様にご来店いただき大変賑わっていました。リンゴの出荷量や価格高騰による客足が心配されましたが、出荷して下さった会員の皆様のおかげで無事大盛況で終える事が出来ました。また、平日開催にも関わらず、足を運んで下さったお客様へ、来年度も満足いただけるリンゴを販売していこうと思います。

ので何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、寒い日が続いていますが、そんな中でもなぜかアイスクリームを食べたくなりますね。林檎の森では、去年から始まった「クレミアソフト」ですが、濃厚さと、コーン生地がとても美味しく高級感のあるソフトクリームです。最近までは「クレミア・ザ・ショコラ」を販売し、チョコ好きにはたまらないと好評でしたが、12月からは期間限定で「クレミア・ザ・キャラメル」の販売が始まります。こちらは、甘さとほろ苦さが絶妙で、男性にも人気のある味です。「クレミア・ザ・キャラメル」は無くなら次第終了となっておりますのでご了承ください。

最後に、新年度の営業は1月4日からとなります。営業時間は9

時から5時までとなります。また、会員の搬入時間は8時45分からとなりますので、お間違えないようご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

令和4年度もスタッフ一同頑張りますので、皆様のご来店、出荷を心よりお待ちしております。



新発売の「クレミア・ザ・キャラメル」ご賞味下さい

正月と言えなぜお餅？

お正月と言えはお餅を思い浮かべると思いますが、なぜお餅が定番化したかご存知ですか？

お餅は、平安時代に神様に備えたお餅を食べる事で無病息災を祈ることを意味したことから、縁起が良いとして食べ続けています。また、年神様にも穀物を備える事で前年の豊作を感謝し、新年の豊作と幸福を祈るにも使われています。皆さんも改めて新年の農作物の豊作を祈りながらお餅を食べてみてはいかがでしょうか。



直売所には餅を使った商品が種類豊富に並び

青年部通信

事務局 小野 朋宣



青年部では、19名の部員が11月24

日から26日まで健康診断を行った。

例年であれば一日で行っていたが、コロナウイルス感染拡大防止の為、最大7名迄の受付となり、3日間に分けて行った。

健康に対する意識の向上が浸透してきたことから、毎年受診者は増えており、この健診以外にも個人的に受診している部員もいる。部員の中には喫煙者が多数いるが、禁煙に成功している部員も数名いる。

受診した部員に話を聞くと「毎年受診して結果を見ると良くなっている数字もあれば悪くなっている数字もあってその年の生活を振り返るきっかけにもなる。でも部員とのコミュニケーションは欠かさないなあ」と話していた。

年末には、今回の結果を基に保健師の方々が部員へ生活指導や米



注射が苦手な部員は心を落ち着かせる

養指導を行う。

11月26日には、9月に刈取ったもち米を直売所で販売する為、袋詰め作業をライスセンターにて部員15名で行った。

今年産の収量は10俵と40キロであり、昨年11俵の収量と比べると劣るが、地盤が悪く植えられなかった箇所を考えると満足できる収量であった。



取り壊し前最後のライスセンター事務所で作業する部員

今回、青年部の活動に興味があり是非参加したいことから、相馬地区地域協力隊の石田有希子さんが訪れ、もち米の袋詰め作業を一緒に行った。

石田さんは「皆さんが笑顔で元気に活動している事が一番印象に残っている。地域をこの笑顔と元気で盛り上げていってもらいたい」と青年部の印象を語った。今後も、この活動などを通して地域の活性化につなげたい。

林檎の森にて好評発売中!!

今年も美味しいもち米が出来上がりました。青年部が愛を込めて育てたので是非お買い求め下さい。



食べてみて下さる～

1升(1.5キロ) ￥600

所員 千葉翔平



いつも当SSをご利用頂きまし

て誠にありがとうございます。現

在、北東北3県で実施されている

「あつたか灯油キャンペーン」は12

月31日をもって終了します。たく

さんのご応募ありがとうございます

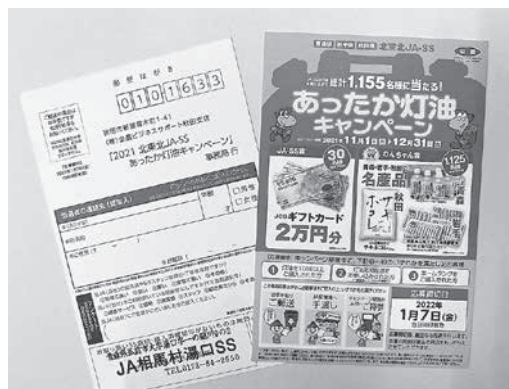
す。また、未だ期間中ですのでお

客様のご応募をお待ちしております

す。最終締切日は来年の1月7日

となっております。なお、当スタ

ンドまでお持ちの際には応募はが



沢山のご応募お待ちしております

きに切手の貼り付けは不要です。

(直接郵送される場合は切手が必要

要です)

今年も残すところあとわずか

になりました。年末はご自宅の掃除

と同じように愛車の洗車をおすす

めしております。洗車の受付完了

までは、洗車機の洗浄ブラシの凍

結防止のため、防寒シャッターが

作動し、シャッターは閉まってお

ります。

そしてこれからは、路面凍結防

止のため道路の至るところに塩化

カルシウムが散布されてありま

す。下回りの洗浄を定期的に行わ

ないと錆びてしまいます。愛車が

錆びないうちに定期的に洗車する

ことを重ねておすすめておりま

す。洗車機は冬季も元気に稼働し

ておりますのでお立ち寄りの際は

ぜひ洗車をしてみてはいかがでしょうか。



現在ガソリン・灯油の高騰が家

計を直撃しております。少しでも

お客様に安くご提供するため、灯

油の定期配達を店頭の価格より2

円ほど安く提供できますので、お

気軽にお申し込みください。お客

様のご来店をお待ちしております

す。詳しくは当スタンドスタッフ

にお気軽にお声がけください。ま

た、お立ち寄りの際は、イベント

カレンダーをご覧ください。

今年も当スタンドをご愛顧いた

だきありがとうございます。来

年も元気に営業できるよう頑張り

ますので、たくさんのご来店を心

よりお待ちしております。

1月 イベント情報

- 毎週木曜日はレギュラー・ハイオク・軽油の特売日
- 10、20の日は灯油の特売日
- 第2、第4火曜日はポイント3倍の日

年末年始の 営業時間のお知らせ

・ 年末12月31日は、午後3時30分まで、洗車機は午後3時までの営業となりますのでご理解の程よろしくお祈いします。
年明けは1月3日から通常営業致しますのでよろしくお願い致します。

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



平素はJ Aフルーツステーションをご利用いただき有難うございます。

令和3年産の入庫量は、隔年結果と凍霜害の影響により、昨年対比では全体で約2割減となりました。

11月の果実動向は、数量減の単価高で推移しました。

早生ミカンについては、各産地が出揃い安定した入荷となるなか、売り場は広く確保され、食味も順調に回復されたことから堅調な販売となりました。

ブドウについては、シャインマスカットを中心に引合いが強いなか、特に黒系品種については極端に少ないことから、青森県産のスチューベンに引き合いがみられました。

洋ナシについては、山形産ラ・フランスが極端に品薄傾向であることから、堅調価格で推移しました。そのなかでも凍霜害の影響に

より、変形果やサビ果等の下位等級品の割合が多いことから、特に上位等級品や大玉についてはギフトや海外需要により跳ね上がりました。全国的にこのような状況であることから、産地市場相場は最高値を更新することとなりました。

サンジョナゴールドについてもサンふじが極端に少ないことから、品揃えとして一定の売り場を確保しました。反面、黄色品種については、台湾・香港向けを中心に、トキが順調に販売されたことから、名月も順調に出荷されましたが、国内向けについては売り場の狭さと長野県産シナノゴールド等の仲卸在庫が多いことが



贈答用リンゴの箱詰め作業が最盛期

ら弱保合いで推移しました。今後、もギフト、海外向けなどにより、流通量が抑制されることから、価格は二極化でありながらも、強保合いで推移する見込みです。

品 種	サンつがる	早生ふじ	きおう	トキ	王林	サンジョナ	サンふじ	その他	合 計
単 価 (円)	2,720	3,369	2,670	2,593	3,435	3,487	4,214	2,879	3,056
前 年 比 (%)	95	126	89	128	112	150	141	101	113
数量 (箱/10kg)	849,766	721,386	138,890	260,296	48,079	84,793	215,789	421,623	2,740,622
前 年 比 (%)	87	83	81	82	347	482	319	123	98

全農あおもりデータ・11/30

組合員の皆さまへ

J A 葬祭センター 新たなサービスが始まりました

無料

オンライン葬儀サービス



LINEやメールで
簡単計報案内



葬儀の写真で
葬儀の思い出を共有



追悼メッセージ
香典決済



WEB上でお供物
ご注文



葬儀に参列したくてもできない方のお悔みの気持ちを大事に致します!!



お持ちのスマホ・PCで簡単操作♪

操作方法などスタッフがよりそって
ご説明いたしますのでご安心ください

@葬儀 オンライン葬儀デモ画面公開中

お持ちのスマホから右のバーコードリーダーを読み込み、ぜひご体験ください



J A 全農あおもり津軽葬祭センター 住 所 : 青森県黒石市相野190番地

TEL : 0172-29-2277



ハラダ協同サービスK.K 青森営業所

県税納税証明書の交付申請について

官公庁の入札参加資格審査申請、建設業許可申請、所得税確定申告、金融機関の融資申込みなどのため、県税（法人県民税、法人事業税・特別法人事業税又は地方法人特別税、個人事業税など）の納税額又は未納額がないことの証明書が必要な方は、必要書類をご準備ください。（納税して間もない時は、領収証書をご提示ください。）

納税証明書は、納税者の皆様の大切な情報を証明するもののため、窓口での本人確認を厳格に行わせていただいております。ご理解とご協力をお願いします。

必要書類等のお問合せ先 中南地域県民局県税部

納税管理課 TEL 0172-32-1131（内線 229・311）

地域おこし協力隊 活動記 Vol.79



紙漉隊 大場さんの説明をみんなで真剣に聞いています（写真上段→）

一斉に紙を漉く様子（写真中段↘）

専用の掃除機で水分を吸います（写真下段↘）

みんなの作品☆（写真中央↓）



色付けには着物の染料を使用しています（↗写真上段）

木枠から和紙をはがす工程には三角定規が大活躍（↗写真中段）

慎重にはがします（←写真下段）



こんにちは！ 協力隊の佐野です。

去る11月25日（木）に、『ひろさき市学（*）の一環として、2年生の「紙漉き体験」が行われました。

手漉きの和紙が作れる「紙漉の里」は、相馬の「紙漉沢」という地名が、古くは紙漉きをしていたという歴史があることから、およそ18年前に地元の有志で地域の魅力を掘り起こそう！と始めた施設です。りんご農家のお母さん達が運営をしておりますが、この日は協力隊もお手伝いに行っていました！

2年生の子ども達は、元氣よく挨拶をし、作り方を真剣に聞きながら、色とりどりの作品を仕上げていました。みんなとても頑張ったので、はがきサイズの大きさの和紙がたくさんできました！そして、和紙に色付けをした際のエピソードなども話してくれて、とても楽しかったです。

数年後の中学校卒業時には、自分で漉いた和紙でできた卒業証書をもたらえるのですが、私のはごくごく普通のものだったので、相馬の子達が本当に羨ましいです！

素晴らしい地域施設がある事に誇りを持って下さい☆

（※地域や弘前を題材とした学びを通して、郷土への愛着や誇りを持ち、自分らしい生き方を実現していくこととする態度を育てる事を目的とした教育的取り組みとのこと）

本年も、地域の皆様に大変お世話になりました事、感謝申し上げます。

（*）相馬地区公式HP（<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>）



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長

秋田 義信



農協の役員室。オンベと油売りと放送局が居た。三人とも家からアマサレている人達。

オンベ『『廃藩置県』のとき、最初、県庁が弘前にあったのだナ—』

放送局「ナンブ（三八）の人達が

モンクを付けて青森へ移したのだ」

オンベ「県立第一中学校が弘前、

県立第一女学校も弘前だよ。農林

次官をつとめた松本作衛氏は茨

城県の人だが、旧制の弘前高校

へ入り、そして東大へ、ですよ。

NHKの鈴木健二アナウンサーも

東京の人で、弘高から東北大へだ

——」

油売り「陸軍——軍隊もか」

オンベ「そつだ。第一師団は東京、

第二は仙台、第三は名古屋、第四

は大阪、第五は広島、第六は熊本、

第七は旭川、第八は弘前、第九は

金沢、第十は姫路、第十一は善通

寺（香川県）、第十二は小倉（福

岡）、第十三（高田）、第十四は宇

都宮、第十五は豊橋、第十六は京

都、第十七は岡山、第十八は久留米（福岡）。第八師団の管轄は青森、秋田、岩手県の三県」

放送局「師団長の官舎は市役所の北の藤田別邸の所？ 今も残っているな—」

オンベ「弘前に連隊が二つ、独立

大隊が二つあったんだ。農業高校

の所に歩兵、第三中学校の所に野

砲、松原に騎兵大隊、南高校の所

に輜重兵大隊。

油売り「輜重兵とはなんだ」

オンベ「前線に武器、弾薬や食糧

を馬で運ぶ隊よ。武器をあまり持つ

ていなかったから、戦死者が多かつ

たそつだ」

放送局「昔、宮中席次というものがあつたそつだが、それはなんだ」

オンベ「公式の会合があつた時の

席順よ。県内だと最上席が第八師

団長（中将）、次が大湊の海軍司

令官（少将）、次が知事、青森宮

林局長、弘前高校長、青森地裁所

長の順だったそつだ」

オンベ「弘前から大将が二人半出ているよ。一戸兵衛（陸軍）、中村良三（海軍）、藤田尚徳。秋田県からはナシ」

油売り「二人半とはどうして？」
オンベ「藤田尚徳は父親が弘前出身だが、生れも育ちも東京だから——」

本県に

岩木山

八甲田山のほか

米内山という

恐山がある

津島文治知事談

米内山とは社会党の

米内山義二郎氏のこと

編集部をつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」をご講読ありがとうございます。

今回は新規就農の方を特集し、突然の新規就農でもなんとかか決意を固め、一生懸命勉強しながら取り組んでいる様子を皆さんに見てもらいたいです。

今年一年「林檎の森」をご講読頂き有難うございました。新型コロナウィルスにより、色々なイベントなどが中止を止む終えない状況の中、地域の明るい笑顔といきいきとした動きぶりを目にとめると元気を沢山いただきました。来年もそんな地域のコロナに負けない様子をお届けできたらと思っています。また来年も是非ご講読頂けたら幸いです。

By tomoshi

理事会だより

11月19日（金）

- 1) 10月末残高試算表について
- 2) 組合員の脱退及び名義変更について
- 3) ダニ剤に対する助成について
- 4) 振込手数料の見直しについて
- 5) 教育・マイカーローン特別推進運動について
- 6) 令和3年産農産物減収に対する貸付について
- 7) 出資金の減口について
- 8) りんご販売関係について
- 9) 固定資産の取得について
- 10) 女性理事の登用について

パズル？ 頭の体操

出題 ニトリ

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

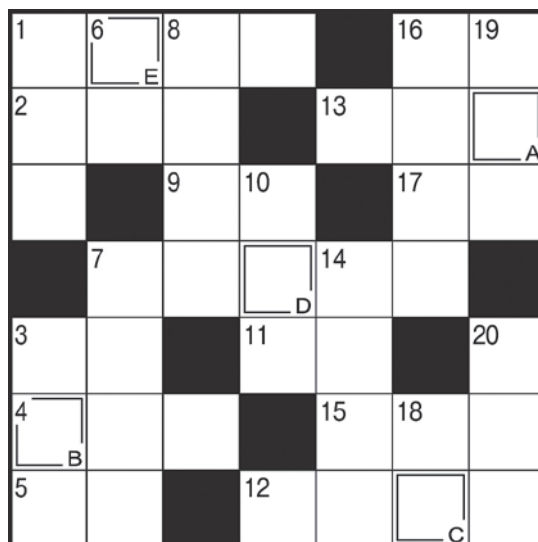
【タテのカギ】

- 1 オイルショックともいわれる——危機
- 3 分度器で測ります
- 6 栗の実のトゲトゲ
- 7 春の七草の一つ。ダイコンのことです
- 8 遊園地で——コースターに乗った
- 10 おでんに添える黄色い薬味
- 14 年下の女きょうだいのこと
- 16 屋外で行うことも多い教科
- 18 ミカンのものは手でむけます
- 19 おしゃれな——でランチを楽しんだ
- 20 「オリオン」「おおいぬ」「カシオペア」とい

えば

【ヨコのカギ】

- 1 1月の第2月曜日は——の日。国民の祝日です
- 2 旅支度で、旅行かばんに——を詰めた
- 3 下手な鉄砲も——撃ちや当たる
- 4 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
- 5 水が混じって軟らかくなった土
- 7 これが三つで三振
- 9 土を盛り上げて作ります
- 11 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
- 12 「住めば都」とか「猫に小判」とか
- 13 果物——を使ってリンゴをむいた
- 15 遠回りをすること
- 16 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
- 17 やっぱり自分の——が一番落ち着くなあ



答えは広報「林檎の森 1月号」にて掲載いたします。

11月号の答え A: プ B: レ C: ゼ D: シ E: ト

表紙物語

今月の表紙は、11月18日から12月3日まで開催された、JA相馬村りんご祭を支えるスタッフが、りんご詰めを行う様子である。

初日は、平日にもかかわらず長蛇の列ができるほどのお客様が足を運んだ。

お客様は、弘前市内はもとより、八戸や三戸、県外の秋田など遠方から来る人も多かった。来場した方にお話を聞くと「色々な地域のりんごを食べてどの地域も美味しいのだが、相馬のりんごは忘れられない。一度食べてからまた食べたいと思う気持ちが湧き、大切な人に贈りたいという気持ちにもさせてくれる」と当JAのりんごに対する気持ちを話していた。

会場では、りんごを持ち込んだ生産者と買いに来た消費者が直接話をする場面が何度かあり、今年の品質や食味についてや霜が降って大変だったことなど収穫までの出来事について話していた。

今後も多くのお客様に足を運んでもらう為にも愛を込めて生産者と接し、高品質りんご生産を指導していきたい。



買ったりんごは贈答用と家庭用で振り分ける



多くのお客様が長蛇の列を作って入場を待つ



お祝いに向けた「寿」りんごも販売



品質の良いりんごを見極める消費者

JA相馬村広報

林檎の森

2021.12 Vol.473

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2021年12月15日

JA 相馬村概況

〈令和3年11月末日現在〉

組合員数…………… 865 人
(うち准組合員数 …… 375 人)

出 資 金…………… 617,530 千円

貯 金 額…………… 10,678,091 千円

共済保有高…………… 3,202,994 万円